

山形県自家消費型太陽光発電(PPAモデル)実証事業
第3回 経過報告(令和7年4月~12月)

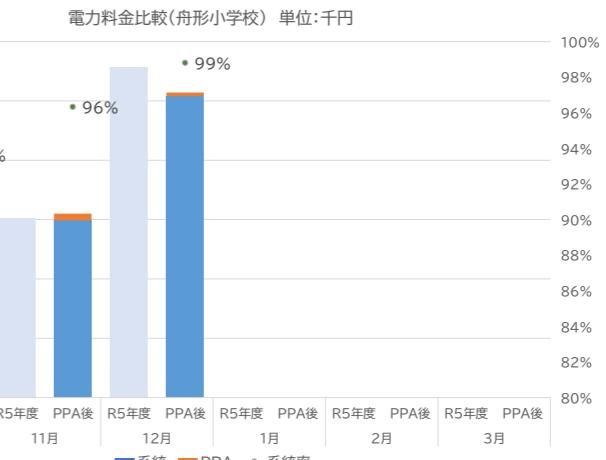
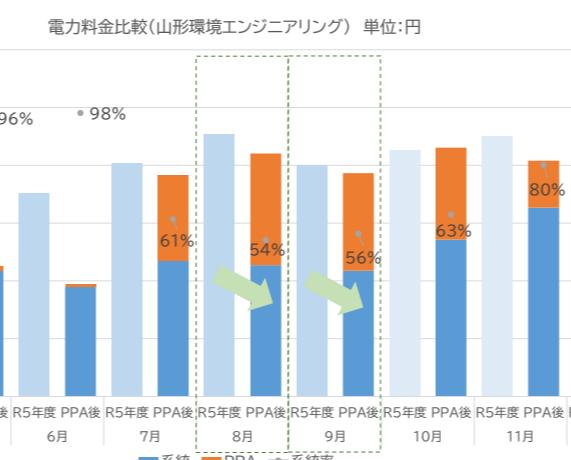
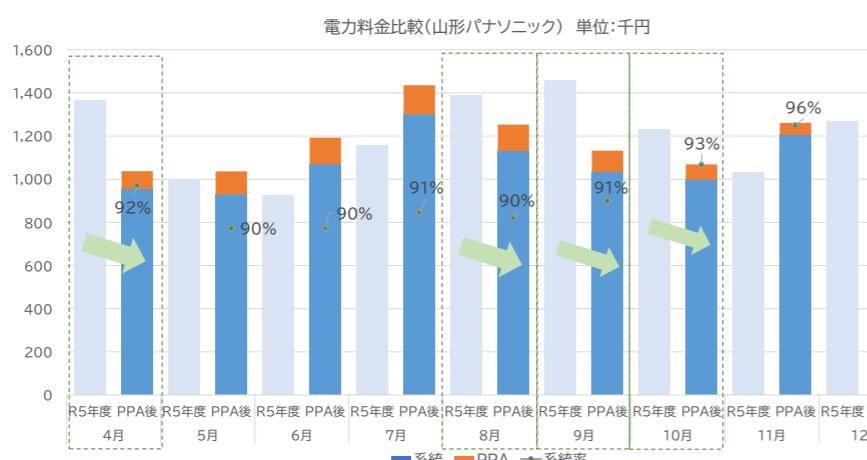
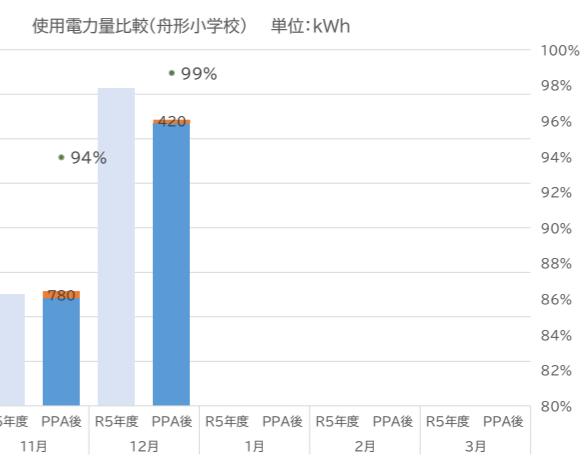
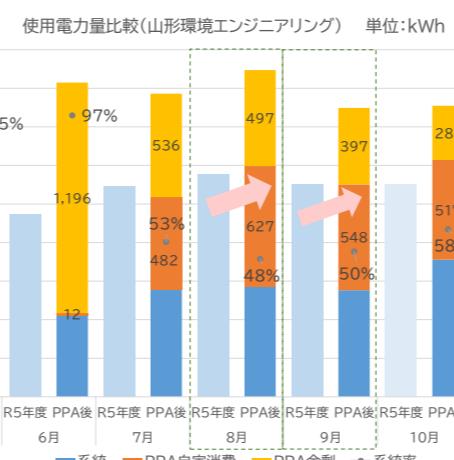
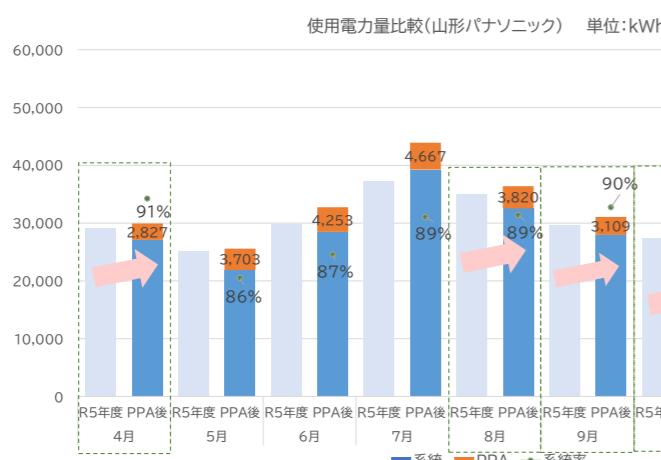
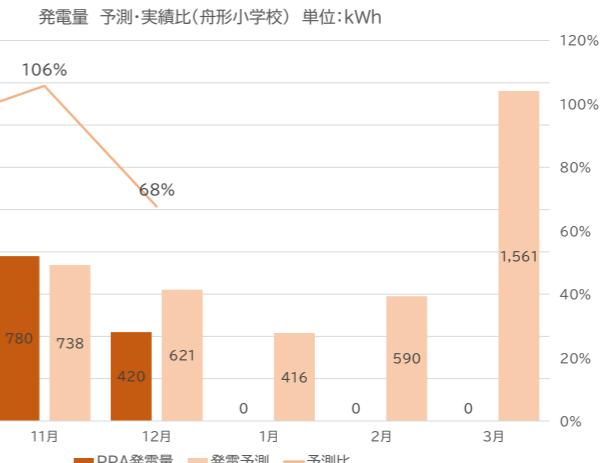
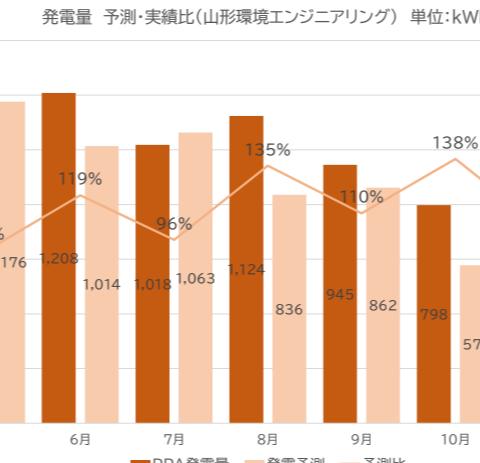
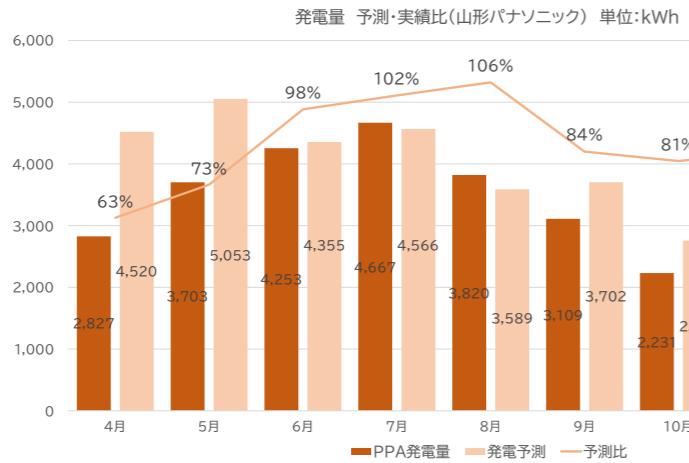
設置場所:山形パナソニック本社北側駐車場(山形市)
設置形態:ソーラーカーポート
太陽光出力:35.235kW
事例掲載 <https://ymgt-ps.jp/case-studies/case-studies04/>



設置場所:山形環境エンジニアリング倉庫棟(寒河江市)
設置形態:折板屋根(水平)
太陽光出力:11.000kW
事例掲載 <https://ymgt-ps.jp/case-studies/case-studies-3822/>



設置場所:舟形町立舟形小学校増築校舎(舟形町)
設置形態:立平ぶきガルバリウム鋼屋根(南北水勾配)
太陽光出力:21.000kW
事例掲載 <https://ymgt-ps.jp/case-studies/case-studies-4211/>



・発電量は、予測の86%であり冬期間は社屋北側の駐車場のため遮蔽の影響の可能性が高い
・4月、8月、9月、10月の4か月で使用電力量が増加しているにも関わらず電力料金は減少
・年間使用電力量の8.8%を太陽光で賄う事が出来ており、計画の8.5%を超えている
・系統側(東北電力)も減少しているのは省エネ活動と内窓設置による断熱効果向上のため
・再エネ賦課金が上昇しているにも関わらず使用電力料金が低減しているのは経済合理性が高いと推察される
注)R5は1.40円/kWh R7は3.98円/kWh

・発電量は、予測の107%で順調な発電量
・8月、9月の2か月で使用電力量が増加しているにも関わらず電力料金は減少
・年間使用電力量の38%を太陽光で賄う事が出来ているが、計画の54%に至っていない
注)再エネ賦課金について R5は1.40円/kWh R7は3.98円/kWh
注)4月から6までPPA売電計器不具合で計測が異常値になっています

・発電量は、予測の100%で3か月間は計画通り
注)再エネ賦課金について R5は1.40円/kWh R7は3.98円/kWh